

海外で育つ日本の子ども の生活と学びに関する研究

＜研究者＞ 渡部晃正（代表）、梅谷千代子、前田和代、菱田隆明

東京家政大学ヒューマンライフ支援機構
プロジェクト研究助成費



1. 研究の目的

- 本研究は、海外で育つ就学前の日本の子どもたちの生活や遊びの実態を明らかにし、異文化環境における課題とその支援の在り方を考察することを目的とする。本報告では、多民族国家であるシンガポールの日系幼稚園及びローカル（地元）園における観察と保護者インタビューの結果（一部）について述べる。

2. 方法

- 2024年（令和6年）9月、シンガポールにある日系園2園（A園・B園）及びローカル園1園（C園）の協力を得て、園内観察を実施した。本観察は、各園の教育環境や子どもたちの活動の様子をより深く理解することを目的としている。さらに、日系のB園では、保護者7名を対象とした対面インタビューを実施し、子どもの遊びや生活、その環境についての意見や考えを収集した。インタビューの対象者は全員母親であり、シンガポールでの子育てに関する多様な視点や意見を把握することを目指した。

3.結果

1) 園内観察 保育内容について

【活動の時間（活動場面）の特徴】

語学に関する内容の実践

- ・ 英語の先生によるレクチャー
- ・ 英語の習熟度別指導（ワークや会話）



園外への活動 B園（報告者撮影）



英語の先生と絵カードによる活動 C園（報告者撮影）



【生活場面の特徴】

●着替え

- ・各自トイレの個室で行う
- ・保育室についたてで仕切りを作り、男女分かれて行う

➡ 性的配慮の重視

●食事

- ・年齢ごとに異なる食器 ➡ 発達に合わせている
- ・自園給食・献立表・保育者による配膳 ➡ 昼食環境は日本との差異はない



靴の履き替えC園（報告者撮影）



【遊び場面の特徴】

- 好きな遊びを好きな場所で楽しむ
- 好きな玩具で遊ぶ

➡ 日本と相違はあまりない



外遊び B園 (報告者撮影)



外遊び C園 (報告者撮影)



中庭での遊び C園 (報告者撮影)

【保育室環境構成】

●保育室の掲示

- ・英語表記のあとに日本語や中国語での表記

➡ 国籍に合わせた言語表記

●絵本コーナー

- ・英語、日本語、中国語の絵本が置かれている

➡ 在籍の子どもの国籍に応じたセレクト



4歳児クラス壁面C園（報告者撮影）



絵本コーナーB園（報告者撮影）



玄関隣絵本コーナーC園（報告者撮影）



4. 考察

(1) 園生活における多文化共生の在り方

- 一人一人の子どもを尊重（国籍・文化など）
- 多様な文化や言語に触れられる環境
- 保育者同士の連携と役割分担の明確さ



- 多文化共生における保育者の資質能力が求められる
- 保育者の価値観や保育の捉え方の再考の必要性



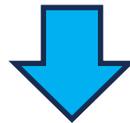
A園の教室(報告者撮影)



A園の遊具(報告者撮影)

(2) 異国での生活における子どもへの文化的な保障

- 園での遊び：子どもたちは英語学習に楽しみながら取り組み、生活面では安心して過ごせるよう配慮されている。発達段階に応じた遊び環境が整えられ、自由に遊ぶ姿が見られる。また、多文化や日本の四季を感じられる工夫が施されており、豊かな文化や自然に触れる機会がある。シンガポールの温暖な気候を活かし、涼しい時間帯に屋外遊びを取り入れるなどの工夫もなされている。
- 家庭での遊び：子どもの遊びは、シンガポールの安全性や気候、多文化的要素によって支えられている。保護者は、シンガポールと日本の文化的な違いを埋める努力をしつつ、両国の良い点を取り入れている。子どもたちが異文化に触れながら成長することは貴重な経験であり、それが保護者の子育てにも影響を与えていると考えられる。



5. 今後の課題 他の国でも調査を実施し、異文化環境で育つ子どもたちの生活と遊びにかかわる課題とサポート方法について考究していきたい。